



第9回 おおさかさやま こどもフェスティバル開催

11月26日、SAYAKAホールにおいて第9回“おおさかさやま こどもフェスティバル”が開催されました。「子どもたちが、心豊かに育ってほしい。素敵な自分に気付き自信を持ってほしい。」このような願いを子どもたちに届ける機会として、また、家庭・地域・学校園・関係諸機関がつながる場として実施されています。

フェスティバル前半は、読書を通して豊かな感性と考える力を育成する「読書eプラン」の3つのジャンル——「図書館を使った調べる学習」「読書感想文」「読書感想画」の表彰式が行われました。また、各受賞者によるプレゼンテーションが行われ「苦労したこと。工夫したこと。心を動かされたこと」などを自分の言葉でしっかりと伝えました。子どもたちは、きっと自信や読書への意欲を高めたことでしょう。

フェスティバル後半は、さやまで学ぶ子どもたちの澁刺とした姿が会場を盛り上げていきました。“団結と友情”を確かめつつ、自分の力を出し切ろうとする子どもたち。その真剣な姿が輝いていました。特別なステージに立つことで、自分が気付かない能力や可能性に気付き、自信を持って歩いていく貴重な機会になったと思います。



迫力！(狭山高校ダンス部)



合唱と笛の輪(南三小)



響く太鼓(大野台こども園)



エビ・カニダンス(南第二幼稚園)



エイサーが聞こえます(池尻保育園)



考えと振り付け(東小ダンス部)

学校まるごとパック事業 3校が研究発表会開催

学校力の向上を目指して、第三中学校(11/11)・北小学校(11/15)・南第三小学校(12/2)が、多くの参観者を迎えて学校をまるごと公開しました。

給食後、隅々まで心を配り清掃活動を進める三校の児童・生徒たち。清掃後、運動場には笑い声・歓声と共に、ボール遊び・縄跳びなど…友だちの輪が広がります。南三小では「ジャンプアップ・チャレンジ」(3分間で長縄を何人跳べるか)に挑んでいる児童や先生たちの励まし合う元気な姿が印象的でした。

予鈴が鳴ったとたん、一斉に教室に向い学習準備。日常の先生たちの地道な指導が見事に映し出されていました。

公開授業——職員全体が目標を明確に共有し、子どもの発達段階を踏まえた系統的な研究実践を参観することができました。

■第三中学校…1年生では、学習意欲を高め主体的な学習を目指した授業が展開されていました。2年生は“職場体験”で学んだ内容の発表と交流です。自分を見つめ、これからの“生き方”を真剣に考える大変良い機会になっていました。3年生は、事故で車椅子生活を送る“信頼する中村珍晴さん”に対して、自身の悩みや迷い・疑問などを真剣に投げかけます。生きることの意味や喜びや重みを深く考える学習の場になりました。

■北小学校…“考える力”を付ける手段として“思考ツール”を取り入れた授業が公開されました。先生たちは“思考ツール”をどう活用すればよいかを考えながら進めていました。今後は、学習内容の定着や学習意欲などとの相関関係を検証しながら校内研修を進めることが“深い学び”に結びつくと思われました。

■南第三小学校…大阪府の研究指定を受け研究を進める“道徳の授業”と“ICTを活用した授業”を軸に統一された様式の指導案に沿って丁寧で工夫された授業が全クラスで進められました。(裏面へ)



大きな声援が飛び交います。(南三小)



学校では学べない貴重な職場体験。(三中)



思考ツールをもとに理由を説明します。(北小)



ICTで自分の動きを見て確認。(南三小)

全ての教育活動を『温かな集団づくり』に還元させていく南三小の取組みが、良質な学習集団・温かな仲間関係・信頼し合う異年齢集団・落ち着いた学習環境に結び付いているように思いました。客観的な

子どもの姿から評価・検証し、P(計画)・D(実施)・C(評価)・A(改善)サイクルで今後も着実に歩んでほしいと思しました。

全体会・分科会 ―― 全体会では各校の取組み内容に応じて、大阪府教育センターや大学から専門家を招き指導をいただきました。分科会では中学校区の課題を共通理解し、解決への道を探る事を通じ“育ちの連続性”を高めようという取組みの素晴らしさを改めて実感しました。

みらい大阪狭山「子ども議会」 ～私たちが考える安全安心なまち～

“これからの大阪狭山市のまちづくり”をテーマにした第3回「みらい大阪狭山 子ども議会」が、11月1日(火)、大阪狭山市議会議場で行われました。



緊張しましたが提案を伝えることが出来ました。

――「わたしは、この町をとて もいい所だと思っています。そして、もっと良い町にするために2つのことに取り組むことが大切だと思います。…」―― 市内の全小学校・中学校から参加した20人の児童生徒が、大阪狭山市を一層“安全で安心なまち”にしていきたいとの思いを込めて、様々な提案を行いました。みずみずしい感性と素直な問題意識から真剣に考えた提案です。



自分たちが暮らす地域・人・くらしからの提案です。

次のようなものがありました。
□狭山池の魅力を発信し多くの人が訪れるまちに
□多くの人と交流して、いじめや差別のないまちに
□SNSの危険性と使い方について

□地域の人達とのあいさつ・ふれ合いを活発に
□市全体で避難訓練を行い助け合いの心の輪を
□街灯・道路・歩道の整備と公園の充実を…等々。

――多くの提案について市議会議員の方々は、若い世代の意見を大阪狭山市の“まちづくり”に反映させる貴重な機会として、一つひとつの提案を真正面から受け止められ、丁寧で分かり易い言葉と真摯な姿勢で答弁くださいました。



提案を真剣に受け止め、答弁してくださいました。

子どもたちは「子ども議会」に参加することで大阪狭山市への愛着が更に深められ、自分たちの提案が“まちづくり”につながるという効力感を持つことができたようです。

「子ども議会」の取組みは、社会を形成する者として自覚を持って地域社会に関わり、主体的に考え判断し行動できる公民的資質を養っていく『主権者教育』そのものであると思しました。



共につくりましょう、より良い大阪狭山市を！

狭山池は築造1400年

大阪狭山市の全小学校が参加する「フラワープロジェクト1400」今、プランターで育てたパンジーを狭山池の堤に移す作業を各校が続けています。全部揃うのが楽しみです。



校章を表現します。(東小)

地域・人への愛着と信頼感を育てる



さやりと写真撮影

11月13日(日)に「第6回 さやりんピック」が、12月3日(土)に「第17回 サンネットフェスタ」が開催されました。澄み渡る青空と快い陽気の下、地域の人たちや子どもたちが大勢参加し、会場は笑顔と歓声に包まれていました。

子どもたちが抱く「地域・人への愛着と信頼感」は、温かな交流の場で育てられます。将来の社会の担い手として、社会の改善に関心を持ち、より良い社会をつくる活動に積極的に関わるかどうかは「地域・人への愛着と信頼感」に左右されます。他者に関心を持つ人ことが“より良い社会づくり”の力強い担い手となるのです。

地域の人々が集い、笑顔で語り合い交流を楽しむ体験が「地域・人への愛着と信頼感」を育てていく。

――それを実感できた素敵な一日でした。

第6回 さやりんピック



手づくりコーナー(狭中美術部) 会話も笑顔も弾けます。注目の的(狭中吹奏楽部)

第17回 サンネットフェスタ



懐かしい曲も三吹奏楽部 楽しみなドッジボール大会 中学生コーナーにも長い列